

「大平文庫」を開設しました（その2）

閲覧室郷土資料コーナーに、「大平文庫」を開設しました。「大平文庫」は、公益財団法人大平正芳記念財団より寄贈された旧大平正芳記念館の蔵書、約8,500冊をもとに構成されています。

貴重な図書を多数寄贈され、大平文庫開設に寄与された、そのご芳志に対し、知事から感謝状を贈呈しました。感謝状贈呈式は、2月16日（火）当館2階館長室において、財団理事長大平裕氏、常勤理事大平知範氏、浜田恵造香川県知事、辻村修香川県議会議員、西原義一教育長ほかをお迎えして、行われました。

感謝状の贈呈後、知事、理事長の挨拶、記念撮影が和やかな雰囲気のもと行われました。その後、閲覧室の記念展示や「大平文庫」の見学を行いました。

椎名六郎さんって、誰な～？

～「椎名六郎宛 与謝野寛・晶子書簡」一般公開～

平成27年9月下旬、元県立図書館長 椎名六郎氏のご遺族から、与謝野寛・晶子からの書簡3通を寄贈したいとの申し出がありました。

椎名六郎氏は、香川県出身で、明善高等女学校（現在の英明高校）教師、県立図書館長（昭和18年4月～31年2月）などを務めたことから、当館で寄贈を受けることになりました。

☆椎名六郎（しいな・ろくろう）さんって、いつ頃の人な～？

明治29（1896）年に高松市で生まれ、昭和51（1976）年に亡くなりました。

☆どんな人やったん？

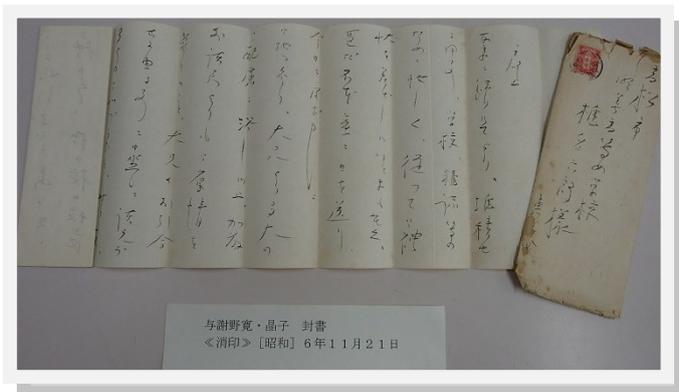
大学卒業後、明善高等女学校で20年にわたり教育に熱意を傾けました。その後県立図書館長や社会教育課長などを務めました。今回寄贈された書簡は、歌人としても活躍していた教師時代のものでした。

椎名六郎さんは戦中・戦後の大変な時期を図書館長として乗り越えただけでなく、50代後半にして司書資格を取得、60歳で退職した後も上京して勉強を続けるほど「図書館学」に打ち込みました。

地元香川ではあまり知られていませんが、戦後日本の図書館学の基礎を作った人だとも言われています。

☆そんなに偉い人やったんな？！

昭和20年に日本図書館協会理事となった後、参与、顧問を歴任しています。香川大学を始め多数の大学で図書館学の講師を務めました。上京した後は、国立国会図書館調査員も務めています。図書館関係の表彰も多数受賞していますし、亡くなった時には「図書館雑誌」という雑誌で追悼特集が組まれるほどでした。



与謝野寛・晶子 封書
 <消印> [昭和] 6年11月21日

昭和6年10月、与謝野寛・晶子夫妻は初めて四国を訪れました。その時、椎名六郎は夫妻を玉藻城や栗林公園に案内したり、晶子には明善高等女学校で講演してもらったりしました。

左の写真は、昭和6年11月21日消印の書簡で、旅行の際お世話になった御礼がつづられています。

平成28年2月16日（火曜日）～3月13日（日曜日）、当館閲覧室にて一般公開展示を行いました。（右写真）

書簡が書かれてから80年以上が経過しており、損傷の恐れがあることから、一般公開後は書庫で保存します。調査研究等を目的とした場合に限り、閲覧が可能です（事前の申請が必要です）。



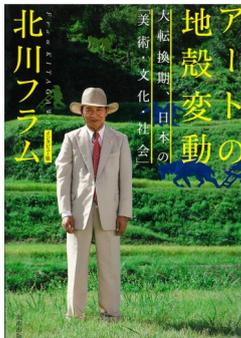
この本オススメです！

～瀬戸内国際芸術祭2016～

3月20日から、瀬戸内国際芸術祭2016が開幕しました。この芸術祭の大きな特徴は、何と言っても、船に乗り、瀬戸内の島々や港を巡りながらアート作品を鑑賞できることです。

3年に一度、3回目の今回は、「海の復権」を目指して、「食、文化、アジア」をテーマに、春、夏、秋の3シーズンで、総計108日、12島14会場で開催されます。世界トップレベルの現代アート作家の作品の鑑賞やイベントに参加できるとともに、それぞれに個性ある島々の歴史や風土に触れて、香川の魅力を再発見できる機会です。

出かける前、出かけた後・・・、瀬戸内について、アートについて、読んでみませんか。



『アートの地殻変動』
北川フラム／著（美術出版社）2013. 11
（請求記号：7090/K30）

瀬戸内国際芸術祭総合ディレクターを務める北川フラム氏のインタビュー集。

北川氏は、「（瀬戸内国際芸術祭の）本当の狙いは、瀬戸内海の島を元気にすること」（p321）と語っています。芸術祭に参加したくなる一冊です。



『せとうち暮らし』vol. 1～vol. 17（欠号あり）
（瀬戸内人）
vol. 16までの出版者：ROOTS BOOKS
（請求記号：K2910/S46/1-1～17）

瀬戸内の島々の情報を、美しい写真と文章で届けてくれる情報誌です。開催期間中だけでなく、芸術祭が終わった後でも訪れたい、お気に入りの島が見つかるかも知れません。



『家をせおって歩く』
村上慧／作（福音館書店）2016. 3
（請求記号：520/M9）

発砲スチロールで作った小さな家を背負って歩く村上慧氏の絵本です。この不思議な家での生活はどのようなものなのでしょうか。食事は？睡眠は？強風の時は大丈夫？

芸術祭では、村上氏の作品が春会期に小豆島で公開されます。是非、訪れてみてはいかがでしょうか。

～障害者サービスのご案内～

今年の4月1日から「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（いわゆる「障害者差別解消法」）が施行されました。この法律は、障害のある人への差別をなくすことで、障害のある人もない人も共に生きる社会をつくることを目指したもので、行政機関には、障害者への合理的配慮が義務付けられています。

当館では、視覚障害、高齢などで活字による読書が困難な方や障害などにより来館が困難な方の読書をサポートするために次のような取り組みを行っています。

○新しく拡大読書器を導入しました。



今年2月に活字が読みにくい方のために拡大読書器を新設しました。（閲覧室のレファレンスカウンター付近と健やか生活応援コーナー付近に各1台ずつ）

この拡大読書器は、解像度の高いカメラを内蔵しており、図書のページをモニターに映し出すと、活字が大きくはっきり見えます。

ご利用の際の申し込みは不要です。操作方法が不明な場合は職員が説明します。どうぞお気軽にご利用ください！

○視覚障害・高齢・病気等で活字による読書が困難な方のためのサービス

＜大活字本、点字図書、デイジー資料が利用できます。＞

・文字が大きく読みやすい大活字本、点字で書かれた大人向きの点字図書や子供向きの点訳絵本は、貸出カードをお持ちの方はどなたでも貸出ができます。

・デイジー資料は、活字による読書が困難な方のために作られたデジタル録音図書で、県内に居住の視覚に障害のある方などで、当館でデイジー資料等利用登録をされた方が利用できます。

＜サピエ図書館が利用できます。＞

・サピエ図書館とは、視覚障害者及び視覚による表現の認識に障害のある方々に対して点字、デイジーデータをはじめ、暮らしに密着した地域・生活情報などさまざまな情報を提供するインターネット上の図書館です。

・当館において、デイジー資料等の利用登録をされた方には、サピエ図書館に登録されているデイジーデータをCDにダウンロードし、貸出できます。貸出をご希望の場合は、事前に資料を準備しますので、お電話等でお申込みください。

＜対面朗読が利用できます。＞

県内に居住の方で視覚障害等のためご自身で資料を読むことが難しい方に対してご希望の図書の対面朗読を行っています。ご希望の際は、事前にお電話でご相談ください。

○障害などにより来館が困難な方へのサービス

＜郵送貸出制度が利用できます。＞

県内に居住の方で障害などを理由に図書館に直接来館できない方を対象に郵送での貸出を行っています。

郵送貸出を利用される方は、郵送貸出制度への登録が必要です。

ご負担いただく郵便料金は、登録されている方の該当要件や、貸出資料の種類によって異なります。

詳しくは、県立図書館へお問い合わせください。

＜お問い合わせ先＞

香川県立図書館 障害者サービス担当

TEL : 087-868-0567 FAX:087-868-0607

編集・発行 香川県立図書館

〒761-0393 高松市林町2217-19（香川インテリジェントパーク内）

TEL 087-868-0567 FAX 087-868-0607

<http://www.library.pref.kagawa.lg.jp/>